

TAMAGO TRIP

～ たまごが食卓に届くまで～

JA全農たまごの事業紹介

飼料原料の輸入

鶏が食べる飼料(とうもろこし・大豆など)の大部分は海外から輸入しています。JA全農グループには、穀物の主要原産国における穀物の集荷や輸送、輸出等の業務を担う関連会社が現地にあり、飼料原料を安定的に確保しています。



※写真はイメージです。

飼料の製造・販売

調達した飼料原料は飼料工場で混合・加工され、配合飼料が作られます。JA全農グループでは、海外の穀物産地や国内原料メーカーから飼料原料を調達し、グループ会社の飼料工場で製造した配合飼料を、主に経済連・JAを通じて生産者に供給しています。

品質管理

たまごの鮮度管理、賞味期限の日付管理を行っています。また、自社工場や提携生産農場の衛生管理を推進し、高品質で安心できる商品提供をサポートしています。

相場発表

全国のたまごの需給動向を集約し、東京・大阪・名古屋・福岡の各市場の当日相場を当社ホームページにて発表しています。翌日の日本経済新聞朝刊に掲載され、全国の鶏卵取引価格の指標として広く活用されています。

畜産技術・飼料の研究

JA全農グループには生産者の経営を支えるため、畜産技術や飼料の研究を行う研究所があります。配合飼料・畜産資材の商品化、家畜の飼養管理・生産性向上に関わる技術開発、ワクチンや混合飼料等の商品開発と疾病の基礎研究、家畜の衛生検査などを行うことにより、日本の生産者をサポートしています。

資材販売

たまごの生産・流通に必要なGPマシンのような大型機械、ローリンナーなどの什器、品質管理に使う卵質測定装置やカラーチャート、梱包用のバック・トレイ・ダンボール・ラベルなどの容器資材を生産者に販売しています。

仕入

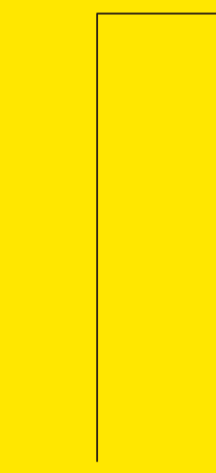
毎日たまごを安定的に仕入れ、生産者を支えることは、JA全農グループである私たちの最も大切な機能です。仕入先数、販売先数日本1位の供給力をバックボーンに、日本有数の大規模事業者から自社商品を販売するメーカー、地域密着の農場まで、あらゆる種類の生産者と取り引きしています。

スイーツショップ

直営のスイーツショップTAMAGO COCCOでは、パティシエがたまごと国産の原料にこだわったお菓子を製造・販売し、たまごの美味しさを直接お客様へ届けています。また、パティシエは業務用たまご商品の商品開発やレシピ開発・食育活動などにも携わっています。

輸出

日本の人口減少を背景に、農畜産物の海外市場への輸出に力を入れています。日本のたまごは、安全性の高いたまごとして香港・マカオなどアジア圏を中心に家庭向けの消費を伸ばしています。



液卵製造・販売

自社工場や提携工場で製造した液卵を、食品メーカー(パン・お菓子・玉子焼など)や惣菜ベンダー、外食チェーンなど業務用のお客様に向けて販売しています。

たまご加工品製造

自社工場や提携工場、ゆでたまごや温泉たまごを製造し、全国の量販店などへ販売しています。子会社の京食品では玉子焼などのたまご加工品を製造・販売しています。

外食販売

牛丼・ハンバーガー・ファミレスチェーンなどの外食産業に向けて業務用のたまごを販売しています。

卸売販売

鶏卵問屋に向けてたまごを販売し、量販店や外食産業、業務用の取引先(学校給食・医療施設・介護施設など)へたまごを供給しています。生産者や取引先の中長期的な取引の要望に応じて「特約定期取引」を中心に集荷・供給するとともに、日常的な「スポット取引」による過不足調整を行うことで取引全体の安定化を図っています。

量販店への販売

スーパーマーケット・生協・コンビニ・ドラッグストアなどの量販店やEC・宅配サービスに向けて、バックのたまごや、ゆでたまご・温泉たまごなどの加工品を販売しています。また、量販店ストアブランドの開発・販売を行うとともに、販促キャンペーン・イベントを通じて拡販のサポートをしています。

レシピ開発・料理教室・食育活動

たまごの魅力と正しい知識を消費者の皆様へ伝えることは当社の大切な使命の1つです。様々なたまご料理のレシピを開発し、Webやイベントを通じて発信しています。また親子料理教室を開催し、栄養の知識だけでなく、料理をつくる楽しさ、食べ物や農業の大切さを伝える活動を行っています。

